

成人を迎えて

成人式の運営に協力してくれた皆さんに、成人を迎えたことへの気持ちや意気込みを伺いました。



かとう あやか
加藤 綾華さん
(宮前自治会出身)

このコロナ禍の中、無事に成人式を迎えることができ、非常にうれしく思います。これからは成人としての自覚を持ち、良識を持った大人になれるように心掛けていきたいです。また、ここまで育ててくれた両親にたくさんの感謝の気持ちを伝えたいです。



わたなべ りょうか
渡邊 涼香さん
(沢尻自治会出身)

成人の日を迎えるまでに多くの方々に支えられてきたことを思い返し、感謝の気持ちでいっぱいです。この先にどんな未来が待っているのかは誰も予想できませんが、希望を忘れず社会に貢献できる大人になれるように頑張ります。



もろほし しゅん
諸星 駿さん
(仲町屋自治会出身)

無事に成人式を迎えることができ非常にうれしく思います。まだ大学生という立場ですが、自分の行動に責任を持てるような大人になります。また、今までお世話になった方々や両親に恩返しできるようこれからも努力していきたいと思っています。

新成人 20歳の抱負

※広報用に成人式での発表時のものから編集しています



ひおき かずき
日置 和暉さん
(沢尻自治会出身)

本日は、私たち新成人のために、このような素晴らしい式典を開催していただき、誠にありがとうございます。

さて、昨今の新型コロナウイルスの影響や、AIを始めとするテクノロジーの急速な進歩、そして深刻化する社会問題などは、これから私たちの生きる時代が、流動的で予測不可能であり、非常に先行きの見えないものであることを予感させます。そこで、パーソナル・コンピューターの父と呼ばれる、アラン・ケイ氏の「未来を予測する最善の方法は、自ら未来をつくることである」という言葉を取り上げたいと思います。これからの予測不可能な未来を前に、ただ怯えているのではなく、自らより良い未来をつくっていくことに関与していく姿勢を持つことが、非常に重要になると考えています。先ほど述べた、急速なテクノロジーの進歩は悪いことばかりではなく、SNSなどを通して、より個人が発信力を持つことを可能にさせ、これまで以上に個人の意思や思いにより、社会全体を動かすということが起こりやすくなっています。実際に、社会の課題を解決したり、より良い未来をつくることに尽力している、社会起業家と呼ばれる人々が多数現れるようになりました。

このような、より良い未来をつくることのできる人材になるために、大切なことが三点あると考えます。一つ目は圧倒的な専門性です。他の人と比較した時に、抜きん出た専門性を持つことが重要になると考えます。二つ目は他者とコラボレーションをしていく能力です。同じ志を持った仲間にとどまらず、異なる考え方をしている人とも高め合うことで、一人だけではたどり着けない領域に到達できるようになるでしょう。三つ目は創造力です。これからの時代は、再生産だけでなく、自らの感性や知性を用い、新たな物や価値を創造していくことが必要になるでしょう。

私は大学において、人の創造性を高めたり、引き出したりすることはいかにして可能かということを探求しています。また、幼少期から続けているテニスも、現在も選手として継続しております。私が大学で所属している部は、現在日本二位という位置につけています。残り二年間で必ず全国制覇を果たすことができるよう、文武両道を大切にしていきたいと思います。

最後になりましたが、本日まで育ててくれた両親や家族、本日の式典のためにご尽力いただいた関係者の方々に、この場を借りて、厚く御礼申し上げます。新成人代表の挨拶とさせていただきます。



ほさか まほ
保坂 真帆さん
(かなん沢自治会出身)

本日、私たちが新成人としての第一歩を踏み出すにあたり、このような状況のなか盛大な式典を開催していただき、誠にありがとうございます。

私たちは今日、成人式という人生の節目、そして大人としての門出を迎えることが出来ました。こうして無事に成人式を迎えることが出来たのも、今日まで育ててくれた家族、そしてこれまでご指導いただいた方々のおかげであることを深く感謝し、お礼を申し上げます。

私は現在、理系の大学に通いながら教職課程をとり、教師を目指して日々勉強しています。教師を目指したきっかけは、高校の部活の顧問の先生との出会いです。その先生は、顧問として部員を支え、進路のことで悩んだら一緒に考え、そして私に様々な言葉をかけてくれました。

その出会いにより、私は先生のような、人を支え、育て、導いていく人になりたいと思い、教師を目指すことにしました。教職の授業で「どこまでが教師の仕事なのか」を、考える機会がありました。その授業の中で、「不登校の子に対して、家まで行ってその生徒の話聞いてあげること」、「部活動の顧問をやること」、「学校外での生徒が起こした問題に対して指導をすること」など、「これらは本当に教師の仕事ですか?」と問われたとき、とても悩みました。

しかし、考えていくうちに、私がこれまで過ごしてきた学校生活において、部活の大会で勝った時に、一緒に喜んでくれたこと、悩んだときに話を聞いてくれたこと、ここでは言いつくせないほど、先生にたくさんのことをしてもらったことを思い出しました。そしてこれらは、必ずしも教師がしなければならない仕事であるとは言えませんが、人を教え、育てる仕事において、教師はどのように生徒が育ってほしいか、そして、生徒にとってどのような存在でありたいかが大切なのではないかと思います。

これまで出会った先生方が私に大きな影響をあたえ、そして、道しるべとなってくださったように、私もこれから出会う子供たちの成長において、意味ある存在になるような教師を目指して、頑張っていきたいと思います。

しかし、本日成人式を迎えたばかりの私たちは、まだまだ未熟です。人生の諸先輩方、これからも変わらずご指導のほど、よろしくお願ひいたします。

最後になりましたが、私たちを見守ってくれる家族や関係者の皆さまに深く感謝を申し上げ、新成人代表の言葉とさせていただきます。